

大阪大学経営協議会（令和3年度 第3回）議事要旨

日 時 令和3年11月19日（金）13時30分～15時45分

場 所 オンライン開催

出席者 西尾総長（議長）

池上、大石、来島、鈴木、塚本、土屋、中野、村尾、CASSIM、米田、金田、田中、三成、河原、尾上、中谷、水島、奈良、小笠原、竹村、馬場口、今里、有川 各委員

欠席者 井野瀬、多田、津賀、出口、鳥井 委員

議事に先立ち、西尾議長より会議開催に必要な定足数を満たしている旨の報告があった。

また、医学部附属病院外来・中央診療棟における水道配管の誤接続に係る経緯と対応状況及び大阪大学公式ウェブサイトのリニューアルについて報告があった。

続いて、前回（9月2日開催）の議事要旨については、事前に各委員に照会し、内容を確定して本学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

議 事

【議事】

1 令和4年度概算要求事項の状況について

金田委員から、配付資料に基づき、令和4年度概算要求事項の状況について報告があった。

なお、学外委員より以下のような意見があった。

- ミッション実現戦略分は、今後、社会的インパクトを評価したうえで予算配分が行われるとのことだが、評価が非常に難しいのではないか。今後、どのような評価が行われるか、注視が必要である。

2 令和5年度概算要求（施設整備事業）の方針について

金田委員から、配付資料に基づき、令和5年度概算要求（施設整備事業）の方針について報告があった。

3 第4期中期目標期間に向けた新たな「自己点検・評価体制」の構築について

三成委員から、配付資料に基づき、第4期に向けた新たな「自己点検・評価体制」の構築について報告があった。

なお、学外委員より以下のような意見があった。

- コンプライアンスのためのIRだけではなく、大学の発展の原動力になるよう、経営判断に必要な情報をデータベース化して分析や評価を行うとともに、（その結果を）あらゆるステークホルダーにシェアするような仕組みを構築することが、本取り組みの延長線上にあるのではないか。
- 多様なステークホルダーから意見を集めるにあたっては、各担当部署の体制をしっかりと整備する必要がある。
- 例えば在学生については学生支援担当が意見を集約するとのことだが、直接の担当者に

は伝えにくい意見もあると思うので、匿名で意見を出せる仕組みも検討してはどうか。

4 長期借入金及び大学債の検討状況について

中谷委員から、配付資料に基づき、長期借入金及び大学債の検討状況について報告があった。

なお、学外委員より以下のような意見があった。

- 資金調達を行う際には、その目的、使途、得られた効果等について説明する必要があるが、ソーシャルボンドとして ESG 投資の対象となる債権で発行するという予定であれば、設置要項にもそれを含めるなど、明示してはどうか。

5 会計規程の一部改正について

中谷委員から、配付資料に基づき、会計規程の一部改正について説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、学外委員より以下のような意見があった。

- 今回の大学債発行に係る損害賠償責任に関する会計規程の改正により、役員の損害賠償責任が改正前よりも重いものとなるため、万が一のリスクに備えて保険の加入についても検討してはどうか。

6 教職員の給与及び役員の報酬等について

水島委員から、配付資料に基づき、教職員の給与及び役員の報酬等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、学外委員より以下のような意見があった。

- 教職員の給与については、人事院勧告に依拠するだけでなく、大学の裁量で決定することも検討してはどうか。大阪大学だけの問題ではないが、優秀な人材を集めて研究力を向上させるためにも、研究者等の人材の給与水準について、国や社会に対し、もう少し意見を伝えていくべきではないか。

7 今後の非常勤講師に係る制度について（案）

水島委員から、配付資料に基づき、今後の非常勤講師に係る制度（案）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

8 サステイナブルな社会の実現に貢献する大阪大学の取り組み（感染症総合教育研究拠点）について

金田委員から、配付資料に基づき、感染症総合教育研究拠点の取り組みについて報告があった。

なお、学外委員より以下のような意見があった。

- 大変重要な取り組みである。今後、政策提言を行えるよう取り組んでいただきたい。
- 得られた成果については国や社会に対して積極的に発信してほしい。

9 前回のご意見に対する取組状況について

西尾議長から、配付資料に基づき、前回の本協議会で学外委員からいただいた意見や助言に対する取組状況について報告があった。

(以 上)